

結実の過程を楽しむ家 建築家が創るHOPデザイン

柔らかな曲線が人生の豊かさを描く 札幌市S邸

人生は道に例えられる。だが目的地をまっすぐ指す一本道では味気ない。カーブもあり、他と交わりまた枝分かれして広がる、柔軟な曲線の方が、目的地まで時間がかかったとしても、より多くの景色に、より多くの感動が味わえる。この家は、そうした“曲線”を描く家だ。夫婦の描いてきた曲線、子どもたちがこれから描く曲線、それらが交わり、広がっていく未来を予感させる家。人生という果実が豊潤な実りを迎えるその過程を、ゆっくりと楽しむ家である。

撮影 / 木田 勝久